



DIAS 全球の主要作物のフェノロジーイベント

1. 識別情報

名称	全球の主要作物のフェノロジーイベント
DOI	doi:10.20783/DIAS.643 [https://doi.org/10.20783/DIAS.643]
メタデータID	global_crop_phenology_200020220328092057-DIAS20220214155649-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	飯泉仁之直
組織名	農研機構 農業環境研究部門
住所	日本, 305-8604, 茨城県, つくば市, 観音台3-1-1
電話番号	029-838-8201
電子メールアドレス	iizumit@affrc.go.jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

3. ドキュメント作成者

名前	飯泉仁之直
組織名	農研機構 農業環境研究部門
電子メールアドレス	iizumit@affrc.go.jp

4. データ作成者

名前	飯泉仁之直
組織名	農研機構 農業環境研究部門
電子メールアドレス	iizumit@affrc.go.jp

5. ドキュメント作成年月日

2022-03-28

6. データ作成年月日

creation : 2022-03-14

7. データセット概要

7.1 序論

10年間（1996-2005年）の日別気象データをルールベースの農業気候資源モデルの入力値に使用して、全球0.5° 解像度で主要穀物のフェノロジーイベント発現時期の尤度を推計しました。トウモロコシ、コメ、コムギ、ダイズに共通するイベントとしては2000年頃の播種期、出芽気、成熟期、収穫期のデータが利用可能です。作物特有のイベントとしては2000年頃の絹花期（トウモロコシ）、開花期（ダイズ）、出穂期、開花期（コムギ）、移植期、出穂期、開花期（コメ）が含まれます。コムギについては冬コムギと春コムギ、またコメについては一期作と雨季作、乾季作を分けて推計しています。灌漑条件と天水条件のそれぞれについて栽培暦を推計しています。データは日別の尤度（10年間のうち何年成功裏にイベントが起こるか）で表され、利用者が設定する任意の閾値により播種期・収穫期に変換できます。尤度値の最大値（ピーク日）の暦日（1月1日からの日数）を抽出したデータも利用可能です。

7.2 トピックカテゴリ (IS019139)

farming

7.3 時間情報

開始日	2000-01-01
終了日	2000-12-31
時間分解能	Daily

7.4 地理的範囲

北限緯度	90
西限経度	-180
東限経度	180
南限緯度	-90

7.5 グリッド

次元の名称	次元の分割数	次元の解像度
column	720	0.5 (deg)
row	360	0.5 (deg)
vertical	1	1 (level)

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Agriculture > Agricultural Plant Science > Cropping Systems	GCMD_science

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

DIASファイルダウンロードサイト : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:643>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
NetCDF	4	

8. 系譜情報

8.1 データ処理 (1)

8.1.1 データセット作成に関する加工過程や履歴の説明

ルールベース農業気候資源モデルと10年間の日別気象データにより、任意の場所における対象作物のフェノロジーイベント発現日を推計します。モデルは熱量、冷却量、水分量、圃場作業性についての気候要件を満たすかどうかを評価します。灌漑条件と天水条件は分けて計算します。なお、フェノロジーイベント発現日は、その場所の気象・土壌条件の下で、その日に任意のフェノロジーイベントが発現する可能性が高い日を指します。

8.1.2 元データの情報

データ起源の引用名	加工するデータ起源の説明
-----------	--------------

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

データを利用した場合には参考文献 (Iizumi et al., in review) を引用すること。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/policy/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacypolicy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス



CC-BY 4.0 : 表示 4.0 国際 [<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>]

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表、論文発表、誌上发表、報告などを行う場合は、以下を参考に謝辞を記載すること。また、データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は、それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

13. 参考文献

Mori, A., Y. Doi and T. Iizumi, GCPW, Global crop phenological windows dataset: Improvements derived from combining site observations, a crop phenology model and potential sowing windows. Earth System Science Data (submitted).

Copyright(c) 2006-2021 Data Integration & Analysis System (DIAS) All Rights Reserved. This project is supported by "Data Integration & Analysis System" funded by MEXT, Japan
